

# 企業紹介

豊かな自然の恵みを次世代に残したい、  
企業活動を通し、その一助となります。

株式会社 野上米穀

代表取締役社長 岸 浩一  
〒940-0087 長岡市千手2-10-20  
TEL 0258-32-0847 FAX 0258-33-9585  
<http://www.nogami-kome.jp/>

業 種：米穀類小売業  
資 本 金：1,000万円  
事業内容：米穀・パンの販売、精米請負、越後切餅の  
販売、石油製品取り扱い など

食を通じて社会に貢献することを目指し、お客さまに安心・安全でおいしいお米を提供する(株)野上米穀。「お客様との信頼感が大切。その為に重視するのは品質」と考える同社は、一人ひとりのお客さまを大切にしている姿勢で絶大な信頼を得ている。

## お米のスペシャリスト

同社は昭和26年に創業。米の流通業界を取り巻く環境が変化  
する中、一人ひとりのお客さまを大切にしている姿勢で確固たる信頼  
関係を築き、事業を拡大してきた。

同社は県内各地で生産される優れた食味の銘柄米を幅広く取  
り扱い、顧客の好む味の分析から販売までを担うお米のスペ  
シャリスト。現在は先代の野上茂氏（現会長）と後継者の岸浩一  
社長のもと、創業当時から変わらない情熱を持って、新潟のおい  
しいお米と笑顔をお客さまに届けている。



▲本社受付

## 安心・安全・無農薬の“合鴨米”

同社の取扱商品の中で、自慢の一つが「合鴨米」。このお米は  
農家の方に直接依頼し、アイガモ農法によって育てられている。  
アイガモ農法は、農薬の代わりに、アイガモで害虫を駆除する  
ことが特徴。春先に田んぼに放たれたアイガモの雛たちは、えさと  
なる虫を食べながら土を耕し、すばらしい土壌を作り出す。

収穫量は、通常の2/3程度しか取れない為、希少性が高く  
値段も高いが、大切な食事に「無農薬のお米を食べたい」とする  
声は多く、非常に好評を得ている。



▲安心・安全・無農薬の“合鴨米”

## おいしい新潟米を新しいスタイルで提案

近年、ギフト用のキューブ形個包装（300g=2合）を開発した  
同社。デザイン性の高いパッケージは銘柄に合わせて色を変え、  
選ぶ人を楽しませてもらえる。

今後は、同商品により一食分など少量のお米を都度購入してお  
いしく食べる、新たなライフスタイルを提案し、その定着を目指す。

長年、お米と真摯に向き合い続けてきた会長は「冷めてもおい  
しい、新潟のコシヒカリが一番。全国の駅や空港など人が動く場  
所にお米をおいて、日本、そして世界の隅々の人たちにお米を食  
べてもらえれば。」と語る。自信をもってお勧めする新潟のお米をよ  
り多くの人に届けるため、同社はこれからも業務に邁進していく。



▲米キューブ 新潟の光6個セット